

情報コーナー

<p>◆初春落語会◆ 日時：2017年1月21日(土) 13:30開演 場所：日立シビックセンター 多用途ホール 入場料：2,000円(全席指定) 出演：初音家左橋(落語) 柳家小菊(粋曲) 林家うん平(落語) *お楽しみ抽選会 シビック寄席茶屋有り <チケット発売中></p>	<p>◆茶道講座◆ 日時：2017年1月25日、 2月8日、22日、 3月8日、22日 いずれも水曜日 18:30~20:30 場所：日立シビックセンター 5階 茶室・和室 講師：山崎宗陽(裏千家教授) 受講料：5,000円(全5回分) 内容：初心者向けの講座です。 基本を一から学びます。 <募集中></p>	<p>◆お花見料理教室◆ 日時：2017年3月4日(土) 11:00~13:30 場所：日立シビックセンター 4階 料理室 講師：岡村比都美 (さくらコーディネーター) 受講料：2,500円 内容：桜を利用した炊き込み ご飯やゼリーなど見た目に も華やかなお花見弁当を 作ります。 <1/22(日)より電話受付></p>	<p>◆三線体験講座◆ 日時：2017年3月5日(日) 13:30~16:00 場所：日立シビックセンター トレーニングルーム 講師：民族歌舞団荒馬座 受講料：1,000円 内容：沖縄の伝統楽器三線を 気軽に体験できる講座です。 買う前のお試しや、新たな趣 味を探している方も大歓迎 です。 <1/15(日)より電話受付></p>
<p>【お問合せ】チケット：☎ 0294-24-7720 (日立シビックセンターチケットカウンター) 講座お申込み：☎ 0294-24-7711 (日立シビックセンター交流事業課)</p>			

関連団体のイベント・活動を紹介するコーナー(2016年12月~2017年3月) 一般参加可能は★印

主催	タイトル	日時	場所	問い合わせ先
日立市日中友好協会	春節祭★	2017年1月21日(土)	日立市民会館	090-2531-5444(白土)
フレンドリー あんず	ET会★	2017年1月予定	女性センター	0294-35-1151(今野)
	ラオスタディーツアー	2017年2月1日~9日	ビエンチャンなど	0294-21-4150(福地)
	世界の料理	未定	未定	080-1216-5699(鈴木)
	外国人のための生け花クラブ	毎月1回 水曜日10:00	教育プラザ	0294-21-4150(福地)
	日本語教室	毎週火曜日 19:00 金曜日 14:00	(火)女性センター (金)教育プラザ	0294-36-4542(半田) 0294-42-8176(金岡)
国際交流 ボランティアネット ワークさくら	日本語教室	毎週木曜日 10:00 土曜日 10:00	(木)教育プラザ (土)女性センター	0294-34-6257(臼井)
	講演会★	2017年3月4日(土)	日立シビックセン ター502号会議室	

活動記録 (2016.7.1~11.30)

- ◆活動推進部会(定例会) ◆広報部会
- ◆記念事業ワーキングチーム打合わせ
7/8、8/5、9/2、10/14、11/4、11/25
12/5(記念事業のみ)
- ◆文化まつり実行委員会 7/21、8/23、9/20、10/18
<平成28年度会員152人
活動推進部会32人、ワーキングチーム12人>

編集後記

今年も「ひたち国際文化まつり」が、関係者の皆さんの協力により無事終了しました。7月に実行委員会を開始し、毎月打ち合わせを行い、前回の反省を踏まえて内容の見直しや改善を行って来ました。来年は、日立シビックセンター改修工事の関係で、開催場所の見直しが見込まれます。草の根の国際文化交流の輪が広がり、相互理解のお役に立つことを願っています。(小澤記)

広報紙「ひたちとアジア」は日立シビックセンターホームページでもご覧になれます。<http://www.civic.jp>
連絡・問い合わせ・感想・入会希望等は、日立シビックセンター内「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」事務局まで
TEL 0294(24)7711 FAX 0294(24)7970 E-Mail salon@civic.jp

ひたちとアジア

第54号

2016年(平成28年)12月

発行：ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 広報部会

「第14回ひたち国際文化まつり」開催 出合いと交流の輪をひろげて

「ひたち国際文化祭り」は、市民の皆さんにしっかりおなじみとなり、今年で14回目を迎え、当会を含めた日立市内の国際交流にかかわる7団体の共催のもと、市内の高校、大学等の協力や多くの後援をいただき、11月13日(日)をメイン日に、日立シビックセンターにおいて賑やかに開催されました。秋の天候に恵まれ、会場前の広場で行われた日立市産業祭の相乗効果で多くの家族連れが訪れたほか、外国の方々にも友人たちと連れだって来場いただき、国際色豊かな会場のなか、市民の方々と交流を深めました。



さまざまなイベント風景:ギャラリー展示/日本語意見発表会/中学生による日立市についての英語発表/
外国人による生け花展示/アトリウム展示/中国の太極拳

1階 Exhibition Corner 展示コーナー (11/8~13)

「世界の遺産・地域の遺産 みんなで守ろう」をモットーに活動している団体の展示である『絵で伝えよう!私の町のたからもの絵画展』と『私の国のたからもの絵画展』では、市内25の小学校、16の中学校の子どもたちの絵画752点と姉妹都市ニュージーランド タウランガ市の子供たちの30点が、ギャラリーいっぱい展示されました。その中から優秀作品20点が、日立市長賞などの表彰を受けました。その他、『教室から世界へ「こんにちは」』『日立国際交流協議会コーナー』『カンボジアの子どもたちとサッカーおよび文化』『ラオス写真展』(13日のみ)などが、ギャラリーとアトリウムに、ところせましに展示され、多くの来場者に興味深く見てもらいました。

2階 Talking Zone 日本語意見発表会

「外国人の皆さんの日本語意見発表会」が、多用途ホールで開催。中国、ベトナム、インドネシア、オーストラリア、韓国からの11名が日本語で環境、家庭、平和、教育等に関するテーマで発表しました。聴衆の投票により、第1位となるさくら賞には、来日6ヶ月のインドネシア人留学生(茨城キリスト教大学)の「先生がいない学校」が選ばれました。発表内容が年々良くなっていると感じます。投票集計時間では、フォルクローレの演奏があり、その後に結果の発表と表彰式が行われ、発表者のみなさんとの交流及び意見交換を行いました。

4階 Food Zone 国際屋台村

ちょっと辛いガパオライスにグリーンカレーやフィリピン風パエリア(もち米入り)にココナッツ Sweet、リッチフランといった5種類のタイ、フィリピンの料理をつくり販売しました。沢山用意した料理はどれもたっぷりの量でとてもおいしく、早くに完売してしまいました。



何を選ぼうかと、残り少なくなったメニューを見る、若い人たち

5階 Culture Zone いろいろな国の文化を体験

501号室では茨城キリスト教大学の留学生によるお国紹介と、市内中学生が英語で日立の紹介をする発表に加え、アジア諸国で集めた手工芸品の販売を行いました。会場で提供されたネパールの紅茶も好評でした。502号室では中国文化紹介が行われ、漢字遊び、来場者と一緒に楽しむ羽蹴遊びやお茶の接待によるもてなしなど、日中友好の懸け橋にしたいという思いが伝わる会場の雰囲気が感じられました。503号室では持ち帰りできる生け花体験で花を通した日本の文化を紹介と、マレーシアを写真とパネルで紹介しました。また、マレーシアの民族衣装も展示し、来場者は試着し、記念写真を撮って楽しんでいました。和室では、抹茶と季節の菓子が振る舞われ、日本文化である茶道を実際に体験することができました。ロビーでは、日立第一高等学校国際交流部が活動を展示紹介しました。高校生は、思っていたより多くの人々が来て話を聞いてくれて、交流することで勉強になったとのことでした。

7階 Consultation Zone 在住外国人向け相談会

通訳(英語、中国語、タガログ語等)も入り、弁護士による在住外国人の生活上の悩み、トラブル等の相談会を実施しました。

カンボジア通信 第4シリーズ NO.1

元青年海外協力隊(理数科教師)・現在農業プロジェクト調整員 浅水 伸介

浅水伸介さんは、茨城大学卒業後カンボジアに渡航し、教員養成校の理数科教師として活動し、現在は農業関係のプロジェクトに従事されています。

私は7月末からカンボジアで農業分野のプロジェクトに従事しています。カンボジアでは農業に従事するよりもタイに出稼ぎに行った方が良い給料がもらえるため、学校を中退する子供が非常に多いのが現状で、「教育こそが貧困を根絶する」という価値観には程遠いものを感じています。一体、カンボジアの農業はどんな問題点があるのか、どうすれば出稼ぎをしなくても自国の農業生産によって収入を向上させることができるのか、ということに興味を持ち、この度、農業プロジェクトに従事することにし、少なくとも2年間は、このプロジェクトで仕事をすることになりました。

カンボジアでは、米中心の農業生産を行っていますが、精米技術がほとんど無いため、タイやベトナムに「もみ」のまま安い値段で買ったたかかれています。農家は教育を十分に受けていない人が多く、読み書き計算ができないため、米の売人に重量や値段をごまかされることも多く、ほとんど稼げにならないという事を聞いたことがあります。また、野菜もほとんどがベトナムからの輸入であり、自国栽培のものは多くありません。そのため、どのような農薬を、どのくらいの量使ったのかわかりません。かつて、ある日本人で野菜栽培の専門家から

聞いたのですが、芽が出た畑に「水を撒いておくように」と、カンボジアの農業試験場の職員にお願いしたら、水を撒きすぎて、水田にしてしまったとのこと。農業国でありながら、稲作と野菜栽培の区別もままならないカンボジアですが、少しずつでも良くなって、自国で安全な食材を生産していけたらと願うばかりです。これからはカンボジアの農業について簡単な言葉で発信してまいりますのでお付き合いいただけたらと思います。



水は豊富にあっても、灌漑がまだ整備されていないため、隔々の田んぼに行き渡りません。

「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」と、日立市内の国際交流関連団体との交流記録 2016年7月～

- ◆国際交流・協力ネットワーク会議に参加 7/6 茨城県国際交流協議会主催で茨城県立県民文化センター分館にて開催されました。内容は茨城県の国際化推進事業説明、横浜市立大学教授・元駐ベトナム大使 坂場三男さん(ひたちなか市出身)による講演「新しい日越関係 今、ベトナムの人々が日本に寄せる熱い思いの意味を考える」に加え、午後は「多文化共生ネットワーク会議」「グローバル交流ネットワーク会議」「日本語ボランティアネットワーク会議」の3つの分科会があり、「多文化共生ネットワーク会議」に参加しました。
- ◆あんず夏祭りに参加 7/10 会瀬青少年の家にて開催されたバーベキュー大会等に参加しました。例年どおり盛況でした。また、当会会員でネパール出身のサブコタさんとご友人の方々が、ネパール地震募金の御礼として、熊本地震募金活動を行い、92,410円を日本ユネスコ協会連盟へ送金したことを、日立ユネスコ協会の大内さんから、会場にてお知らせいただきました。ありがたいことです。
- ◆グローバルフェスタ2016見学 10/1 東京お台場センタープロムナードにて開催された催しを見学しました。主催はグローバルフェスタ実行委員会という政府主催の日本最大の国際協力イベントです。約280団体が参加し、当会と交流がある「21世紀のカンボジアを支える会」のブースを訪問しました。しかし、ひたちとアジアの今年のテーマ国マレーシア関連のブースは、海外青年協力隊OBのブースのみでした。お話をお伺いしたところ、マレーシアは既に経済発展しており、経済援助等の必要性は小さいとのことでした。またマレーシアの文化紹介等には日本マレーシア協会の協力を得ると良いとアドバイスをいただきました。
- ◆茨城キリスト教学園第68回学園祭見学 11/2～3開催 11/3に見学し、例年ひたち国際文化まつりに出店いただいている、アジア諸国で集めた手工芸品を販売しているアジアンバザール会場を訪れ、参加の学生たちにお会いしました。天気も良く、学生や家族連れ、OBなどが来場し、祭り全体が大変賑やかでした。

「アセアンフェスティバル・オリент博物館」研修ツアー開催

今回の研修ツアー「バスで行くアジア文化めぐり」は、今年度のテーマ国「マレーシア」の文化を学ぶ為、代々木公園で開催されたアセアンフェスティバル見学をメインに、西池袋にあるオリент博物館で「古代美術の愉しみ」と題する講演会聴講と「古代オリент美術の愉しみ」特別展の見学も含め、8月6日(日)に参加者29名(事務局2名を含む)で開催されました。

まず、最初の目的地代々木公園に10時頃到着し、アセアンフェスティバル会場を見学しました。会場にはマレーシア他9ヶ国関連のブースがあり、内容は、飲食や衣料品などの販売でした。

昼食は西池袋にあるマレーシア料理店「マレーチャン」で事前予約のナシゴレン(マレー風チャーハン)やチキンライスを頂きました。特に癖もなく美味しくたべられました。マレーシアの主な宗教はイスラム教のため、このお店もイスラム法に従うハラール認証店※でアルコールはありませんでした。

午後は西池袋にあるオリент博物館に移動し、講演会を聴講してから特別展を見学しました。展示品は滋賀県にある「MIHO MUSEUM」が所蔵する古代エジプトから中国にいたる逸品とのことでした。展示品がとても素晴らしく、「MIHO MUSEUM」に行ってみたくくなりました。

すべての予定を終了し一路日立へ、17時過ぎにシビックセンターに無事帰着しました。

※ハラールとは「許されている」という意味で宗教上不適切な食材を一切使っていないという認証を受けています。

チキンライス→ ナシゴレン↓



マレーチャンでの食事風景→